

2016 5/24

No.2019

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



毎年恒例の「ザよこはまパレード（国際仮装行列）」が3日、横浜市中区の山下公園前から伊勢佐木町商店街をメインコースに開かれ、64団体、約3500人がにぎやかに練り歩いた。



視点・点描	3
病院の早期耐震化に力を	
政治	4
米大統領選は対岸の火事か 旋風の影響受けやすい日本	
経済	6
危機管理で試されるトップの力 企業経営の命運を左右	
国際	8
ロシア、原油安・制裁直面 高まる日本への期待	
暮らし2016	10
わが家の耐震は大丈夫か	
広告珍談	12
広告はたのしい ^⑬ どっちが正義?	
NNAアジア経済レポート	13
神奈川景気データファイル	14
神奈川景気データファイル	15

事務局だより

◇横浜定例講演会

2016年6月2日(木)

午後1時30～3時

横浜ベイシェラトンホテル&
タワーズ4階「浜風」

講師は政治アナリストの伊藤
惇夫氏

演題は「参院選と安倍政権の行
方」(仮題)

おわび 5月10日号18ページの
会員の動きで、横浜冷凍(株)の名
義変更はありませんでした。

視点 点描



病院の早期耐震化に力を

7年前に胆石の治療で横浜市内の病院に入院し、胆のうを除去する腹くう鏡の手術を受けたことがある。

経験者はよくお分かりのことと思うが、胆石の痛みは尋常でない。おなかからじわじわと炎症が広がっていくような感じで、座っても寝っ転がってもなかなか解消できない。

胆管に石が詰まったときは発症

とって安全・安心の場でなければいけない。

ところが5月、病院に関してびつくりする数字が明らかにになった。全国8477病院に対する2015年9月の国の調査で、関連施設の全ての建物が「震度6強以上を想定した耐震基準を満たす」と答えたのは7割弱にとどまったのだ。

一方、1割に当たる850病院には、耐震基準を満たさない建物があり、47都道府県に点在しているのが実情という。

特に問題なのはこの中に、災害時に24時間体制で傷病者を受け入れる「災害拠点病院」と「救命救急センター」の1割となる89施設も含まれていることである。耐震不備により、大地震で重要な役割を担う医療拠点が機能不全に陥った場合、影響は深刻を極めるのは

言うまでもない。

震度6強以上の地震で、耐震基準を満たしていないため、病院など医療機関が損壊し、患者の治療に支障が生じることは絶対にあってはならない。病院にとって建築費の高騰など耐震化の財源確保は課題となっているが、災害が起きてからでは遅い。

熊本地震でも必要性があらためて浮き彫りとなったが、病院の早期耐震化を進めなくてはいけない。国は率先して、課題の解消につながる施策を実施し、耐震不備の建物が着実に減っていく取り組みに力を入れてほしい。

病院は震災時、地域住民の命を守る安全・安心の場である。その機能をしっかりと果たせるように備えを万全にしてほしい。

(神奈川新聞社統合編集局次長

石曾根 剛)

どっちが正義？

ふたりの有名な人が、ケンカした。
 こともあろうに文壇にかがや

く、北原白秋と菊池寛である。

とつ組みあいではないけれど、新聞全ページで両方がいいたい放題。つまり意見広告である。まず、白秋はこう書いた(右図)。

「満天下の正義に訴ふ」と、大きなキャッチフレーズ。そして、「率直に申します。私は芸術を以て、詩を以て私の一生の道とし行為とする者であります。しかもまた童謡の作者であり、児童自由詩の提唱と振興とに、多年の熱愛と真実とを傾け尽くしている者であります。少なくとも私は芸術上の良心乃至は児童教育に於ける根本精神の何たるかを自ら知っているつもりであります」

菊池寛は「満天下の正義をして、苦笑せしむる勿れ」と、受けてたつた(左図)。

「自分について、北原白秋氏が、いろいろ言っておられる。白秋氏の如き、天馬にも比ふべき芸術家が令弟の出版事業のために、熱狂して自分に喰つてかゝつてゐられることは、非常に気の毒です。だがいくら令弟の出版事業の敵だからと云つて、自分を悪罵するが如きは、やり過ぎでせう」
 白秋はこうつづける。
 「私はまた出版書肆アルスの経営者、北原鉄雄の兄であります。彼は私の肉親であり、愛する、信

じ愛する弟です。私は弟を知っています。鉄雄は純心です。正しく生き、正しくその信念と事業とに処しています」

「私は宣言します。私は天下の児童を愛します。そうして弟を、ああ、私は私の弟を愛します。私



は人間であり、ありたいのです」
 菊池もつづける。「営利とか何とかいつているやうですが、こうした仕事は、どんなに奉仕的な仕事であるかは、北原氏などにも分かつているでしょう。此の方だけが、営利的で、あなたの方だけが、奉仕的な仕事だなどと都合のいいことをいうのはよして下さい」
 白秋の弟が経営する出版社アルスが、『日本児童文庫』を刊行。菊池が経営する文芸春秋社が、『小学童話読本』を出版した。それをめぐってふたりは、紙上ケンカ大会。どちらにも支援者がいる。白秋には北原鉄雄の義弟・洋画家の山本鼎が「商法戦」というものの、無知辛辣さに心の底から驚いてしまいました。かたや文芸春秋社は「ただ黙殺のみ」と。はたしてどちらが、「正義」だったのか。
 (美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住)
 (図) いずれも1927(昭和2)年8月・大阪毎日新聞掲載